

# めいわ かわら版



めいわ月見保育園 保育士 **河合 真澄**

めいわ月見保育園で、保育士として活躍する河合真澄さん。2006年(平成18年)4月に新卒で入職し、現在の職場を含めて3か所の保育園で勤務を経験しています。そんな河合さんに、思い出深い出来事や今後の目標を伺いました。

——これまでの経歴について教えてください。

私の母は保育士をしていて、その姿を身近で見ているうちに「保育士になりたい」と考えるようになりました。また、私自身は末っ子だったので、弟や妹がいる友達がうらやましく、子どもに関わる仕事への憧れもあったのです。

入職して最初に勤務した可睡保育園では4年、次の第一保育園では10年勤め、現在のめいわ月見保育園では3年目となります。これまで受け持つことが多かったのは年齢が上のクラスでしたが、2022年4月からは8〜9年ぶりに1歳児を担当。年齢によって子どもたちのできることや生活リズムが一気に変わるので、気を引き締めて頑張ります。

ながら、良いと思ったものは柔軟に取り入れていくつもりです。これまでに培ってきた経験に新鮮さをプラスしながら、保育をしていきたいと考えています。

真摯な姿勢で子どもたちと向き合い、前向きに仕事に取り組む河合さん。今後の活躍から目が離せません。



——仕事をする上で最も大切にしていることは何でしょうか。

まずは安全第一、そして自分自身も一緒に楽しく遊ぶことです。特に、自分が提案した遊びを子どもと一緒に楽しめた時は、とても嬉しく感じます。例えば、以前担当していた3歳児のクラスでは「転がしドッジボール」をしました。ボールを投げるのではなく、転がして当たるというルールです。3歳だとボールをうまく投げるのが難しいのですが、これには声を上げて喜んでくれました。段ボールに絵の具を塗るなど、ダイナミックなスケールの工作も盛り上がりましたね。何をするにも「真剣になって一緒に楽しむ」という気持ちが大切だと考えています。

——印象に残っている出来事についてお聞かせください。

5歳児のクラスを担当した時のことです。5歳児は就学前の最後の1年なので、たくさん行事があります。その中の一つがお泊まり保育で、例年だとバスで移動して山登りや川遊びをしますが、この年はコロナの

影響でバスでの集団移動ができませんでした。そこで「歩いて行けるところにお菓子を買に行こう」というイベントに変更になったのです。

ただ買い物に行くだけではなく、家からTシャツを持ってきてもらい、その生地を切って思い思いにオリジナルのエコバッグを作るところからスタートです。完成後は、そのエコバッグを持ってみんなで買い物を楽しみました。

大事なのは、制限が多い中でも決して後ろ向きにならない、その中で何ができるかを考えること。例年の規模とは異なりますが、子どもたちの心に残る思い出になっていたら嬉しく思います。

——リフレッシュの方法はありますか。

コロナ禍以前は、よくウォーキングをしていました。中学高校と陸上で短距離を走っていたので体力には自信があったのですが、運動不足を感じ始めて歩くようになったのがきっかけです。同じ系列の別の保育園に勤める同僚と色々な話をしながら、エコパアリーナの周りを30分以

上歩くのが定番コースです。

好きなアーティストのライブに行くこともリフレッシュになっていきます。4〜5年前にEXILEのライブへ行った際に、歌声とパフォーマンスに圧倒され、それ以来歌を聞くことが活力になっています。できればライブで聴きたいところですが、残念ながらここ最近は叶っていません。どちらも、また社会情勢が落ち着いてきたら再開したいと思っています。

——最後に、今後の目標をお聞かせください。

新しいアイデアを積極的に取り入れていくことが目標です。勤続年数を重ね、同じ行事を何度も繰り返している、どうしてもマンネリ化してしまいます。特に、お雛様や鬼のお面など毎年の制作物については「前に作ったものと同じで良いかな」と自分のパターンが決まってきてしまうのです。

そんな時、若い先生の意見を聞く、「そういった発想もあるのか」と驚かされます。今後も若い先生たちとのコミュニケーションを大切にし



<企業情報>  
社会福祉法人明和会  
■法人認可：1966年11月  
■職員数：374人  
※2022年5月時点  
■問い合わせ先：0538-42-3228





# 河合さんへのメッセージ

巻頭インタビューに掲載された河合さん。ともに働く仲間の皆さんだからこそ知っている、まだまだたくさんある素敵な一面をご紹介します！

**Q 河合さんを一言で表すと？**  
どんな話も受け止めてくれる聞き上手な人

**Q 河合さんのすごいところ**  
製作や行事などの準備が早く、余裕を持って仕事を進めているところです。

**メッセージ**  
2021年度は、真澄さんのおかげで楽しく仕事ができました。2022年度は担当するクラスが別になり話す機会が減ってしまいましたが、これからもよろしくお願いします。



めいわ月見保育園 **大場 真希さん**

**Q 思い出のエピソード**  
生年月日が全く同じだと知ったときには大変驚きました。打ち合わせをしていないのに、お互いに誕生日プレゼントを用意していたこともいい思い出です。

**Q 河合さんを一言で表すと？**  
なんでも屋さん

**Q 河合さんのすごいところ**  
どんな質問にも答えられ、アドバイスもしてくれるところです。さらに仕事も早い。加えて、子どものことをよくわかっており、発達を生かした面白い製作ができるところです。



めいわ月見保育園 保育士 **竹田 千花さん**

**メッセージ**  
どんな小さなことでも相談すると親身になって応えてくださり、たくさん助けてもらっています。これからもよろしくお願いします。

**Q 思い出のエピソード**  
初めて幼児クラスの担任になったとき、わからないことを手取り足取り教えていただき、なんとか乗り越えることができました。

**Q 河合さんを一言で表すと？**  
幼児クラス担任のエキスパート

**Q 河合さんのすごいところ**  
どんなときも怒らないところです。また、いつも子どもがやる気になる言葉かけをしています。



めいわ月見保育園 保育士 **山川 恭子さん**

**メッセージ**  
幼児クラスのこと、いろいろ教えてください。頼りにしています。

**Q 思い出のエピソード**  
卒園式の袴姿が、とっても素敵でした！

# 活躍する Father 職員特集!

パパだって育児したい!でもママと同じくらい仕事との両立は難しいのかもしれない。今回は4名のパパに、育児への関わりや喜び、苦労したエピソードなどをお聞きました。

**質問項目**

- 1.ご家族を支えながらのお仕事で、ご苦労されたことや大変だったことは?
- 2.我が子の自慢エピソード!
- 3.子育てにあたり利用した社内制度と利用しての感想は?
- 4.一緒に働く方や、これからパパ・ママになる皆さんへメッセージ!



特別養護老人ホーム 明和苑  
**近藤 晃拓さん**  
お子様:女の子(6歳)

- 1 業務上、子どもが寝ている時間に出勤し、寝ている時間にも帰ることもあり、妻に任せていたことが多かったと思います。その分、休みの日や夜勤前、夜勤明けの日などは、子どもと触れ合える時間を、大切にしています。
- 2 娘は歌を聴いたり、歌ったりすることが好きです。2~3歳のころからよく歌っているのですが、まだ字も読めないのにちゃんと歌っていたのです。きっと何回も聴いて覚えたんだと思うのですが、その努力がすごいなあと、日々感じています。
- 3 有給休暇が1時間単位で取れるので、子どもの通院や他の用事などで使うことができ、助かっています。
- 4 子育ては大変なことも多いですが、楽しいこともたくさんあります!



あきは寮  
**松浦 雅人さん**  
お子様:男の子(5歳)

- 1 子どもが2歳までは、夜勤など変則勤務のないところで働いていました。夜お風呂に入れたり、休日にでかけたりと関わるが多かったことや、お互いの両親が近くに住んでおり、保育園の送り迎えや急な用事の際には預かってもらうことができたので、苦労はほとんどありませんでした。しかし今は、変則勤務で土・日も出勤する日があるため、そういう日が多いと、理解はしていますが、多少ブーブーと文句を言われます……。
- 2 見たこと、聞いたことをよく覚えていることです。コロナの変異株が出た時期、公園で遊んでいて、近くでマスクを外して遊んでいる子が、おばあちゃんに「マスクしなさい」と言われているのを見て、「新しい変異株が出たんだよ。オミクロン株って言うんだよ」と急に説明したことは、このご時世ならではのエピソードだと思います。変異株のことなど特に教えていたわけではないので驚きました。他にも急に覚えたことを教えてくれた話はまだまだありますが、ここには書ききれません(笑)
- 3 子育ての方法は、それぞれ家庭の環境によって様々ですが、子どもの成長に喜びを感じるのとはどの家庭も同じでしょう。私自身にも言えることですが、わずかな成長でも見逃さないように、子どもと一緒に過ごせる日々を、大切に過ごしてもらいたいと思います。



明和第二保育園 副主任  
**那須 健太郎さん**  
お子様:男の子(5歳)と女の子(2歳)

- 1 共働きのため子どもが体調を崩したときは、お互いの仕事の調整を相談しなければならなかったので、そこは大変でした。しかし、祖父母が近くに居てくれることと、とても協力的でいてくれるので、今もとても助かっています。
- 2 上の子は親の仕事を理解しており、「今日大変だった?」と毎日気遣ってくれます。最近は大人になったら「保育園の先生になる」と言ってくれて嬉しく思います。下の子は「小さいお母さん」になっており、仕事から帰ると、「着替えてきな!ご飯食べる?」と本人なりに私の世話をしてくれます(笑)
- 3 育休です。「保育園で働く男性の立場でも育休が取りたい」と思い、この制度を使いました。様々な社会で男性の育休がもっと取得しやすい環境になるといいなと思います。
- 4 子育ては難しいと思います。子どもによって対応も違い、正解というものもありません。苦労されると思いますが、ご自身の両親もそうやって子育てをして、今の自分たちを育ててくれました。昔と違い、共働き家庭が増えましたが、お互いの仕事に理解をもって一緒に子育てをしていきましょう。苦労するからこそ、子育ては楽しいと思います。



ふかみの家 介護部  
**高木 計佑さん**  
お子様:男の子(5歳)と女の子(0歳4か月)

- 1 息子が1歳を過ぎるころまで、夜なかなか寝てくれなかったので大変でした。あまりに寝ないので、ベビーサークルの中に布団を敷いて寝ていました。
- 2 息子は戦隊ヒーローのポーズをとるのが好きなのですが、カメラを回すと5分でも10分でも様々なポーズをとってくれます。しかもほとんどかぶることなく、瞬時に考えて次々とポーズを決めてくれるので本当にすごいと思います!
- 3 娘が生まれたときに1か月半、育休をいただきました。「がつり」育児をし、その大変さをあらためて感じる、貴重な経験となりました。ありがとうございました。
- 4 育児は体力、精神力ともに少しでも余裕を持って行うことが大切だと思っています(なかなか難しいですが)。そのためにも、家事・育児を協力して行うのはもちろんですが、睡眠時間を確保する、悩みは1人で抱えない、息抜きの時間を作る、楽できることは全力で楽しむ、など工夫して、育児を楽しんでください!